

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

第6学年

地域貢献・生き方を考えるプロジェクト「防災について考えよう」

活動期間：平成28年9月～平成29年1月

防災とは何かを考え、防災とは「事前、事後に被害を減らすこと」として活動を始めた。まず、学区の災害が起こる前の強みと弱み、災害が起きた後の強みと弱みを考え、地域の弱点を洗い出した。学区の弱みは「地域住民の意識の薄さ」「地域同士のつながりの薄さ」と考え、それを改善するために「回覧板の作成」「防災マップの作成」「イベントの開催」「避難後の生活についての提案」という大きく4つのグループに分かれて計画を立てた。「回覧板の作成」では、災害の恐ろしさと事前の準備の大切さと呼びかけ、「防災マップの作成」では、実際に地域を歩き回り、災害が起こった場合にどのような危険が考えられるか、避難に最適な道はどこかなどを考えた。「イベントの開催」では、地域住民とのコミュニケーションを図るため、シャシャキ山の整備や学校で一緒に遊ぶイベントを考えた。「避難後の生活についての提案」は、避難するときの必需品や、その後どのような生活が待っているかを調べた。調べたり活動したりする中で新たな課題を感じ、地域の意識を高めるために調べまとめたことを地域の方々や保護者に向けて発表し、それぞれの立場での意見の交流を図った。

第5学年

地球環境を守るプロジェクト「地球環境を守ろう」

活動期間：平成28年4月～平成29年2月

1学期は、地球規模で起こる環境問題に関するゴミ問題や大気汚染、地球温暖化などについて知ることから始めた。その問題の中から班で1つ決め、発生原因や引き起こされる問題について、図書資料やインターネットを使って調べ、模造紙にまとめて互いに発表し合った。

2学期は、自分たちの生活に身近な川（用水）についての学習に取り組んだ。吉備国際大学の福田富男先生をお招きし、生活排水が浄化センターに運ばれて処理されていることを学んだり、川の生き物調査をしたりした。また、浄化された水が流れ込む瀬戸内海の様子や、「海のゆりかご」と呼ばれるアマモの生態や増殖の取組についても教わった。10月に玉野市渋川海岸で行った海事研修では、海や砂浜の様子、地引き網体験で魚介類が獲れる量が減少していることを感じる機会となった。そして、海の環境保全に興味をもった子どもたちは、福田先生に再びお越しいただき、アマモの播種活動を行った（生育したアマモは3月に兵庫県姫路市の白浜海岸に移植予定）。

川から海へと学びを広げ、同じ瀬戸内海に面する、愛媛県新居浜市立金栄小学校とインターネット電話（スカイプ）交流を始めた。お互いに学校や地域の紹介をしたり、名産品や文化、獲れる魚について質問したりした。

環境は自然循環されていることを子どもたちがとらえ、3学期は、瀬戸内海に流れ込む川の源流である県北の森林環境や旭川の環境、岡山市や企業の環境保全対策について班でテーマを決めて調べ、自分たちが取り組めることを考え、プレゼンテーションソフトを使ってまとめた。そして、金栄小学校が本校に来校した際に発表した。

第4学年

地域貢献・生き方を考えるプロジェクト「バリアフリー・ユニバーサルデザインってなに？」
「ALL J プロジェクト」

活動期間：平成28年5月～平成29年1月

1学期～2学期前半は、国語科の学習や総合的な学習の時間と関連させながら、バリアフリーやユニバーサルデザインについてインターネットや本を使って情報収集をした。また、車いす・アイマスク体験や点字を打つ体験などを行ったり、講師を呼んで話を聞いたりする中で、福祉について自分たちの考えを話し合い、わかったことなどを中心に新聞にまとめた。

2学期後半からは、学校だけではなく地域の現状をどのようにすればみんなが暮らしやすくなるかを、ユニバーサルデザインの観点で話し合った。その話し合いをもとに、自分たちが地域に必要なユニバーサルデザインを考えていった。地域の方や保護者の方に向けて発表を行い、地域の方や保護者の方と意見の交流を図った。

第3学年

地域の人との体験交流プロジェクト「教えてもらおう なかよくなるろう」

活動期間：平成28年9月～平成28年12月

学校評価での地域とかかわる自分たちの関わりの少なさを知り、地域の人と交流をすることで、自分たちが地域と関わりを増やす活動へとつないでいった。一緒に活動したり、お話を聞いたりすることで、その人の生き方の素晴らしさや地域のよさを実感することができた。また、活動内容や生き方や地域のよさについてまとめていった。

第2学年

地域の人との体験交流プロジェクト「野菜を育てよう・おいもパーティーをしよう」

活動期間：平成28年5月～平成28年11月

生活科で、地域の野菜名人の方に作物の世話の仕方を教わり、野菜を観察したり、栽培したりした。交流を通して、地域の農業や食文化についての経験や知恵にふれた。育てている時も、収穫後のパーティーの場でもお世話くださった方々に感謝の気持ちを伝えた。

第1学年

地域の人との体験交流プロジェクト「伝統に親しもう」

活動期間：平成28年9月～平成29年3月

10月に地域住民でつくられた「だんじり保存会」の方をお招きして、だんじり祭りを行った。だんじりの歴史について話を聞いたり、一緒にだんじりをひいたり、自分たちで作ったお神輿を担いだりした。

1月には、愛育委員を中心とした地域の方と、昔遊びを楽しむ会を行い、様々な昔遊びを教えていただいた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（)